

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3年 6月 20日
住 所 三郷市早稲田2-14-4
県内企業等の名称 宗教法人 高応寺
代表者役職 氏名 住職 酒井菜法

宗教法人 高応寺

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

創建400年の伝統仏教寺院(地域資源)として日本文化の継承、日本庭園の自然保護(ホタル・森青蛙・野鳥・樹木)、女性住職と地域の専門家(人的リソース)が連携したサードプレイス活動(گانカフェ・子ども食堂・マルシェ・ヨガ・書道・写経・毎朝坐禅・宇宙講演会・中学生職業体験・企業ストレスケア・マインドフルネス瞑想・悩み相談・不登校ケア・被災者支援・貧困支援・災害時井戸水支援・メディア・出版・動画配信・梵鐘)を持続可能で穏やかな社会を作る為に引き続き行う。国連がSDGsを提言したから急遽行うのではなく、「だれでも心穏やかになれるお寺」を地域の為に開き誰一人取り残さない救済を仏教の慈悲の精神で継続する。地域資源である高応寺が地域の人的リソースと共に仏教的ケアを公共的に行う為、他にはないSDGsの取組みが出来る。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	樹齢400年の松や天然記念種の森青蛙、ホタルなどが引き続き生息できるように境内の小川と池、樹木などを極力無農薬で管理する。その為、今までは高応寺で維持していた自然保護を支援者を集う事で持続可能となり、自然への理解、共生も次世代へ教育になる。 2020年支援者募集開始。	<2030年に向けた指標> 自然保護支援者30人 <取組開始3年後に向けた指標> 自然保護支援者10人
社会	コロナ禍により不安や不満が社会全体を一層脅かし、子どもの不登校や大人の鬱が増えてきている。ストレス軽減し心身共に健康である為にはサードプレイスが必要。サードプレイスとして高応寺が老若男女問わず誰でも心穏やかになれる企画を女性住職と地域の専門家が連携して行う事で公共性のある寺院としてケアし拠り所となる。 2020年利用者160人/月	<2030年に向けた指標> サードプレイスとしての利用者220人/月 <取組開始3年後に向けた指標> サードプレイスとしての利用者190人/月
経済	コロナ禍により全ての業種が不景気となり、若年層の貧困や自死が増えている。その為継承やお金を気にする事無く従来の墓地よりも気軽に入れる永代供養墓や樹木葬など誰一人取り残すことなく供養でき、遺された人の心のケアも出来るような低価格墓地を用意することで救済できる。 2020年 低価格墓地 200件(累計)	<2030年に向けた指標> 低価格墓地350件(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 低価格墓地250件(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。